

魅力あふれる北アルプスの里をめざして

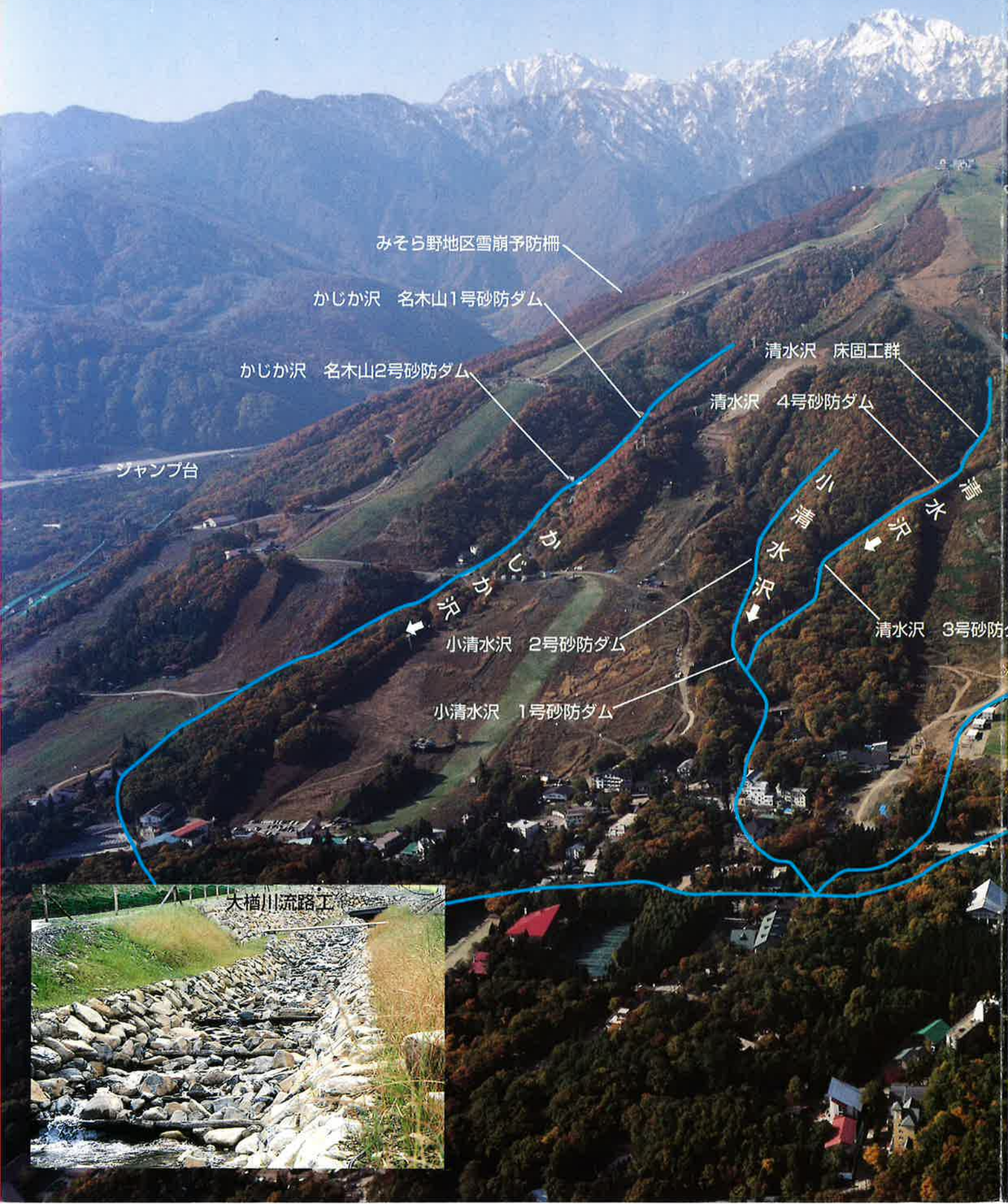
白馬八方尾根の砂防



長野県土木部 姫川砂防事務所

北アルプス白馬連峰の麓に広がる白馬村は、夏の登山、冬のスキーと山岳リゾート地として有名である。中でもここ八方尾根は広大なスキー場となるため、毎年多数の観光客が訪れ、周辺にはペンションやリゾートホテル等が立ち並ぶ。

これらの財産や人命を土砂災害から守り、安全な環境を確保するのが八方尾根の砂防事業の目的である。更に今回、冬季オリンピックアルペン競技の会場となり、より一層の安全を確保するため、重点的、計画的に事業の促進が図られた。





黒菱地区雪崩予防柵



黒菱地区雪崩予防柵

袖畔沢 黒菱4号砂防ダム

袖畔沢 黒菱2号砂防ダム

大櫛川左支川 西山砂防ダム

咲花地区雪崩予防柵

中畔沢 中畔2号砂防ダム

大櫛川 流路工

大櫛川左支西山砂防ダム



白馬八方尾根の砂防概要

八方尾根の砂防事業は、昭和43年に大楯川の名木山・細野砂防ダム及び下流の護岸工に着手したのが始まりです。

その後、昭和46年に清水沢、昭和49年にかじか沢にそれぞれ着手し、継続的に整備を行ない現在に至っております。

また、平成7年の梅雨前線豪雨では整備された砂防ダム等で土砂流出を最小限に抑えることができました。

【施設整備概要】

大楯川……………ダム3基、護岸工L=4,600m

袖畔沢……………ダム4基、山腹工

中畔沢……………ダム4基、護岸工L=350m

清水沢……………ダム6基、床固工5基

かじか沢……………ダム5基、護岸工L=750m

咲花沢……………ダム1基、護岸工L=140m

黒菱地区……………雪崩予防柵104基

みそら野地区……………雪崩予防柵82基

咲花地区……………雪崩予防柵46基



感動のステージ アルプスの街 白馬

3,000m級の山が立ち並ぶ雄大な北アルプス白馬連峰。さまざまな高山植物や国の天然記念物のライチョウなど、平地では見ることのできない動植物との出会いは、別世界の新鮮なひとときを提供してくれます。

長野オリンピックで日本選手の活躍に沸いた白馬ジャンプ競技場。感動の再現を求めて訪れる観光客は今でも後を絶ちません。冬のスキーのみならず魅力満載の白馬はまさに感動のステージです。



▲白馬ジャンプ競技場



▲八方池に映える白馬三山



▲八方尾根スキー場



▲白馬大雪渓